

令和7年

国東市教育委員会 第10回 定例会  
会議録

日時：令和7年10月28日（火）午前9時30分  
場所：アストくにさき3階会議室

## 第10回定例会議事日程

### 会期

令和7年10月28日（火） 開会 午前 9時30分  
閉会 午前11時27分

### 場所

アストくにさき3階会議室

### 議事

#### 報告・説明事項

- 区域外・校区外就学の報告について
- 就学援助費における学用品費（通常）の見直しについて
- 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

#### その他

#### 出席者（12名）

##### 教育委員（5名）

教 育 長	岩 光 一 郎
教育長職務代理者	手 嶋 秀 法
委 員	松 尾 泰 二
委 員	福 永 泰 信
委 員	正 本 律 子

##### 教育委員会事務局（7名）

教育総務課長	村 井 奈穂子
学校教育課長	末 平 誠
社会教育課長	黒 木 宏 一
文化財課長	染 矢 裕 美
図書館長	都 留 英 基
給食センター所長	河 野 昭 郎
教育総務課総務係総括リーダー	河 野 裕 章

**【午前9時30分】**

村井教育総務課長 開会宣言

**【教育長あいさつ】**

岩光教育長

**【会議録署名委員指名】**

岩光教育長 会議録署名委員に手嶋委員、松尾委員を指名

**【前回会議録承認】**

全委員承認

**【各課報告及び今後の日程】**

村井教育総務課長 10/ 1 管理職会議  
10/16 九州都市教育長協議会（～10/17）  
10/27 教育委員・文教厚生常任委員学校訪問  
10/28 令和7年国東市教育委員会第10回定例会  
10/29 令和7年度危機管理研修会  
10/30 教育委員・文教厚生常任委員学校訪問  
11/ 4 教育委員・文教厚生常任委員学校訪問  
11/ 5 「おおいた教育の日」推進大会  
11/10 第2回大分県教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議  
11/25 令和7年国東市教育委員会第11回定例会

末平学校教育課長 10/ 8 要請訪問（安岐中央小）  
10/15 要請訪問（国見中）  
10/18 運動会（国見小）  
10/23 ICT教育研究指定校授業公開（国東中）  
10/28 国東小教科担任制公開授業  
10/31 安岐小教科担任制公開授業  
11/ 6 安岐中央小教科担任制公開授業  
11/13 別府教育事務所学校訪問（国東小、国東中、富来小）  
11/14 別府教育事務所学校訪問（安岐中央小、安岐小）

- 11/17 別府教育事務所学校訪問（国見小）  
 11/19 別府教育事務所学校訪問（志成学園、安岐中）  
 11/20 教育支援委員会  
 11/21 別府教育事務所学校訪問（国見中）  
 11/27 国東市校長会議

- 黒木社会教育課長**
- 10/ 2 障害平等研修（県社会教育課主催）  
 10/ 4 くにさき少年少女発明クラブ講座  
 10/ 8 令和7年度国東市スポーツ協会第2回運営委員会  
 10/11 第53回大分県小学生陸上選手権大会  
 10/13 国東市スポーツ少年団説明会・医科学研修会  
 10/18 国東市体力テスト  
 10/19 あそび防災プロジェクト  
 10/22 人権を学ぶ会⑥  
 10/26 国東半島芸術祭共催イベント『むさし MusicFestival』  
 10/29 第76回大分県公民館研究大会  
 10/31 「やさしい日本語」講演会  
 11/ 2 国東町総合文化祭  
 11/ 5 第20回国東市駅伝競走大会代表者会議  
 11/ 7 アストくにさき自主事業 GPコンサート  
     2025  
 11/ 9 アストくにさき自主事業 武蔵ウインドハーモニーふれあいコンサート  
 11/12 身になる人権講座④  
 11/13 九州ブロック社会教育研究大会（～11/14）  
 11/16 大分県レクリエーション大会  
 11/23 第52回国東半島駅伝競走大会  
 11/27 アストくにさき自主事業 ミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」  
 11/29 くにさき少年少女発明クラブ講座  
 11/30 安岐町地区合同文化祭

- 都留図書館事務長**
- 10/ 8 図書館協議会委員視察研修  
 10/ 9 赤ちゃんおはなし会（くにさき図書館）  
 10/11 4館おはなし会  
 10/11 読書週間イベント～12/27（土）まで

10/23 安岐中職場体験（安岐図書館）  
10/24 安岐中職場体験（安岐図書館）  
10/25 ブックリサイクル（期間：10/25～11/23）  
10/27 2025第79回全国秋の読書週間  
～11/9まで  
11/1 ちぎり絵作品展（～11/23）  
11/5 中学生職場体験（志成学園生徒2名）  
11/6 中学生職場体験（志成学園生徒2名）  
11/8 4館おはなし会  
11/13 あかちゃんおはなし会  
11/25 武蔵図書館蔵書点検（臨時休館：11/25～  
11/30）

**染矢文化財課長** 10/3 たたら製鉄講座  
10/7 土器づくり講座  
10/8 石がま料理講座  
10/12 弥生のムラ 古代まつり  
10/14 ケベス祭  
10/17 かずら工芸講座  
10/21 国東高校インターナンシップ受入れ（～10/23）  
10/28 富来小稲刈体験  
10/31 たたら製鉄講座・歴史講座  
11/5 とんぼ玉自主講座  
11/11 土器づくり講座  
11/12 古代石がま料理講座  
11/18 とんぼ玉講座  
11/19 弥生のムラ・インストラクター視察研修（～  
11/20）  
11/27 編物講座

**河野給食センター所長** 10/2 干し椎茸贈呈式  
10/23 安岐中職場体験（安岐調理場）  
10/24 安岐中職場体験（安岐調理場）  
11/20 学校給食1日丸ごと大分県

**岩光教育長** それでは今各課から報告、また今後の予定がありましたが、委員さん方、何かご質問ご意見等ございますか。はい、では

手嶋委員さん、どうぞ。

**手 嶋 委 員** 社会教育課に質問です。11月16日の大分県レクリエーション大会に関してなのですが、国東市で実施されたり、国東市に関係が深い行事というの、どういったことがあるかご存じでしょうか。

**黒木社会教育課長** はい。大分県レクリエーション大会、昨年は竹田市で行われたということで、これは、各地でやっているということで今年度国東市ということで話を聞いております。内容としまして、毎年5月に国東体育館で国東のレクリエーション協会が、ボーリングみたいなのとか、ボーリングといつても、軽スポーツまでもいかないような、本当にもうお年を召した方とかでも楽しめるような、簡単な競技になります。それの大分県大会を国東でやるということで、正式にどんな種目を用意されているとかいうのはちょっと確認できていません。

**手 嶋 委 員** はい。体育館の中であるということですかね。

**黒木社会教育課長** はい。体育館の中あります。

**手 嶋 委 員** そこに関してなのですが、私は気になったというか、ちょっと関わっている関係で、実はその日に黒津崎の海岸等々を利用してトレイルランニング大会が開かれるのです。そこに連絡がいっているのかどうかわからないのですが、正式な名前は、国東六郷満山トレイルランニング大会だったかな。国東六郷満山ゼロトゥーゴー国東ビーチトレイルランニング大分シリーズという名前らしいのですけども、トレイルランというのは舗装された道路じゃなくて、原野というのでしょうか。山道とか、今回は砂浜みたいなのですけど、そういうところを、1周6キロだったかな、好きな回数、5周走ろうとか6周走ろうとか、そういうリレー形式も可みたいな大会が開かれるのですが、この県のレクリエーション大会とは、直接あんまり関係ないということでいいですか。

**黒木社会教育課長** はい。もう団体とすると全然別団体でして、トレイルランの方は県の補助金を使ってやっているということで、私たちもチラシを1階に置くように振興局の方から協力要請があったので、チラシを置いております。ただ、事業とすると、もう全然別の団体ということになっています。

**手 嶋 委 員** はい、ありがとうございます。これはちょっと意見、宣伝みたいになるのですが、その日に合わせて海岸のごみ拾いイ

ベントっていうのですかね、ファミリーウォーク的なイベントがあって、広く募集していて、まだまだ募集中というところなので、行事予定みたいな感じのタイミングなので、宣伝方々発言をさしていただいたということあります。詳しいことは、チラシがあるのですかね。チラシも1階にあるみたいなので、ぜひ手に取ってご確認いただきたいなと思います。ありがとうございます。

岩光教育長

正本委員

その他委員さん方ございますか。はい、正本委員さん。

はい。教育長と末平課長が行かれた研修会のこの教育の里づくりに向けてという資料を拝見して、私ちょうど今日はこの話を絶対にして帰ろうと思ってきたところなのですけど、9ページのところに、幼児教育の充実と言って、架け橋期のカリキュラム作成というのがあるのですが、今、これを幼小で取り組んでいるところです。私は先日の10月16日に、大分県の幼稚園教育課程大分県協議会というのに参加してきました。それで、あんまりこういう機会はないんですけど、私が所属しているのは、私立幼稚園、また保育園、こども園というところで、これはもう公立幼稚園と私立のこども園と幼稚園が集まって開催された研修会です。

永井先生もこの研修にこられていきました。ここで話し合ったのが幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進についてというところが大きいところなのですけど、竹田市とか、豊後高田市、由布市がもう架け橋が結構進んでいて、竹田市はもうモデル事業でやっていて、進んでその発表だったのです。今回東市はそれを現在進めているというところで、幼稚園は昨日皆さんでいったところ、ここしかないです。5名の園児しか行っていない。私は残り何人の年長の就学前の子どもがいるかわかりませんけれども、その他は公立保育所と、私立の認定こども園と保育所が担っているというところが現状です。幼少の接続について、どのように強化をしたらいいのかという意見交換の場があったのですけど、これをするにおいて、なんか公立の幼稚園の先生からは、隣が幼稚園だから校長先生が園長先生も兼ねている。昨日も、徳丸校長先生が安岐中央幼稚園の園長先生を兼ねているというところだったのですけど、だからいいのですというところだったりとか、公立幼稚園の先生は顔合わせをしやすいとか、親睦を深めるようにしているという意見があったのですけど、私立の者からすると、何かその親睦を深めにこ

ちらから出向いていかないといけないことではないと思うのです。これはもともと多分、文部科学省からやりなさいと言って降りてきたものを、なぜ私立とか幼稚園の先生が学校の先生にこれをお願いしてやらないといけないのかという意見が出るのが私はおかしいなと思ったのですよね。これは行政がこういうことを共に取り組みましょうということを、当然国東市もそういう場を提供して、年に何回か研修会もしてくれているし、やってくれているのだけど、私達、私立の者が何とか学校に行って、先生これ一緒にやりましょうよ、こっち向いてくださいよというのはちょっと私は、違うなと思ったので、ここは今も現在やってくださっているのだけど、もうちょっと強化してくれるとありがたいなと思います。現状としては、市の現状としてはもう、私立幼稚園並びに公立の保育園がほぼほぼ幼児教育を担っていると私は思っているので、その辺の環境整備をしていただけといいなと思います。ちなみに志成学園と志成学園ゾーン、武蔵町の志成学園と、武渕保育所、むさしこども園の関係はとても良好なのです。ただ、なかなか日数も取れないし、例えば校長が変わるとか、1年生の担任が変わっても同じようなスタンスで幼少の接続が同じエネルギーでできていくと思っているので、その辺はこの研修会でも、行政の人に頑張ってもらわないといけないねというアドバイスもいただいたので、せっかくこういう役割を見直していただいたので、私はご意見としてお伝えしたいなと思ったところです。よろしくお願いします。

**岩光教育長** 後で説明がありますが、今、何か答えられますか。幼児教育の部分だけについてお願いします。

**末平学校教育課長** はい。ありがとうございます。もうおっしゃる通りだろうと思います。本当に国東市内で公立幼稚園は1園だけで、就学前は5人ということで考えれば、やっぱりほとんどの子どもたちは、保育所であったり、それから私立のこども園から入学してくるということを考えれば、小学校と連携する際に、当然学校は安岐中央小しかないのですけど、横にある幼稚園を見る、主に見るということではもう、対応できない状況であるのは間違いないと思います。昨日の学校訪問の中で徳丸校長は、昨日幼稚園の視察もあったので、そういう形なのだろうと思いますが、比率で言えばやっぱり安岐中央こども園さんの方が多いわけですから、個々との連携、施設

種を超えて、それから公立私立関係なく、就学前の園児との交流というのは、今後ますます必要になるべきだろうと私も思っています。これまで入学前の交流活動としてブロックごとにしてきた活動も、これは当然引き続き幼稚園だろうが保育所だろうが公立だろうが私立だろうが関係なく充実をさせていかないといけないと思いますし、ここに挙げています架け橋期のカリキュラムを作ることによって、より一層交流をこども園の方からこんなことしましょうね、ではなくてこのカリキュラムを通してことで、一緒の方向を向いてお互いで知恵を出し合っていい連携を作っていくかないといけないというふうに思っています。もう、カリキュラムづくりが今年度から始まって、確かに豊後高田市等に比べると少しスピード感がというところがあるかもしれません、国東市の場合は本当にいろんな施設種があり、規模がありというところなので、みんながきちんと前向きに前を向いて進めていくように、だけでものんびりせずにしっかりとこのカリキュラムを通して連携を深めていきたいなどいうふうに思っていますので、またお力を貸していただきたいなと思います。

**岩光教育長** はい。私もここに来る前明星幼稚園にいてですね、県の幼児教育センターともちょっと関係があって、あそこにアドバイザーがいますけども、聞いたら国東市は非常に積極的に取り組んでくれているというふうに県の方は評価をしていました。公立私立関係なくアドバイザーの方を引き受けてくれたりですね、そして小学校とか、他の幼児教育施設とも連携を深めているということで、竹田市が最初にモデルを出したのですよね。でもそのあと国東もしっかりと連携してやっているというような評価を受けています。これはとっても大事なことで、小学校に入る子どもたちが就学前でどう学び、どういう環境、どういう教師の関わり方をしているのかというのが非常に大きいので、しっかりとここはやっていきたいというふうに思っています。小学校からも、または幼児教育施設からもお互いにいわゆる子どもがスムーズに次のステップに上がるような連携をしっかりとやっていきたいというふうに思っていますので、よろしくお願ひします。はい。正本委員さん、よろしいですかね。

**正本委員** はい。

**岩光教育長** その他委員さん方ございますか。はい、福永委員さん。

**福永委員** 引き続き学校教育課ですけども、昨日学校訪問に行かせていただいた折に、小学校の教科担任制のことがありましたが、これは今後市内のすべての小学校に広がっていくものなのかなと。もしそれであればどれぐらいを目途に考えていらっしゃるのか。ちょっとお聞かせください。

**末平学校教育課長** はい。小学校の教科担任制は今国東市で3校入っています。これは文科省がつける加配が県を使って国東市においてきてるわけですけども、加配教員がつくのです。1人プラスになります。その加配教員が教科担任制を推進していくし、1人プラスになることで、よりまわしやすくなるし、担任の先生方は空き時間という表現がよく使われますけども、それが生まれてくると。昨日安岐中央小でも20時間ぐらい、1週間に8時間程度を他の業務に当たれる時間ができるというような方向だったと思います。今年から3校です。去年までは2校でした。安岐小と国東小でこの2校については、5、6年を中心につく教科担任制です。安岐中央小学校は、今年からまた始まった取り組みなのですけど4年生から教科担任制を入れましょうという取り組みの中で、1校指定が追加されたという形になっています。文科省としては教科担任制を拡大していくこうという流れの中で、安岐中央小にもプラスが入ったわけですが、今後の方向性としては、文科省としては広げていくということなのですけども、市としてもそれを活用して、可能なところには効果的に活用できるだろうという学校には導入を考えていきたいなと思うのですが、ただ、昨日も少し話題に上がったかと思うのですけども、教科担任制が効率、効果的に動くためには、1学年複数学級あるのがやっぱり理想なのです。ところが国東市の場合は、もうほとんどの学校で小学校は1学年1学級という形ですので、なかなかその効果的な活用というところは、工夫しないと難しさも出てくるかなというふうには思っています。方向としては拡大を検討、積極的に検討していくといふうに思っていますが、加配がつくつかないかでもちょっと変わってきますので、そこは県にも申請をしながら、4年生からの教科担任制も含めてですね、検討はしていきたいなと思っているところです。

**岩光教育長** これは平成30年から大分県が取り組んで、その年度に初めて国東でも国東小、安岐小、安岐中央小の3校が始めたと思います。それからもう7年、8年目になるわけですけども、

国東小と安岐小はずっと継続をしています。安岐中央小は一旦止めたのですけど、また今年度からやるということです。やはり小学校でやるとしたら、それはやっぱり系統性の強い教科、算数ですよね。国語もなかなかその学年でどこまで子どもたちの力が伸びているのかというのは、国語は非常に見取りにくいのです。ただ、これを系統的に教えていくことで成長が見えるのです。だから国語と算数、それともう1つ、専門性の強い教科、理科ですよね。だから国語、算数、理科というのを私は教科担任制にしていいのではないかというふうに、指導者側から見れば、そう思います。それともう1つは、やっぱりもう5、6年生になると非常に子どもたちは個性が芽生えてきますので、1人の先生がずっと教えるよりも、いろんな先生と関わることの方が子どもたちが興味関心を示すのです。そういう面からも高学年になれば教科担任制というのが私は魅力的だなと個人的には思っています。ただ、先ほど課長が言ったように、そこに人がいるのです。だから規模も関係あるのです。学校の規模も、今4年生からというのは文科省が言っているけども、4年生からになると3学年先生が、研究しないといけないです。だから私は5、6年生がいいなと思っているのだけども、5、6年生になると2クラスはいるなとは思っていますが、そのためには統廃合はできませんので、そこはちょっと加配をつけながら、今言った教科全部じゃなくても、教科を選んで、しっかりやろうというようなところで、学校の主体性に任せながらですけども、やっていけたらいいなというふうに思っています。

**正 本 委 員** 志成学園はどんな感じなのですか。何かこの教科は、理科の先生は主任の先生が教えているという感じを私は受けていけるのですけど、どうですか。

**末平学校教育課長** 志成学園は県の加配がつく学校ではないのですけど、学校の中での工夫ということで、やっぱり志成学園の強みである、小学校と中学校が一緒になっていますから、以前は中学校の先生が小学校に行って教科担任をしていることもありましたし、学校の中で教務主任の先生が理科を受け持つという学校は他にもあって、そういう取組みをしやすいところが1つかなと思うのですけども、そういう形で、理想としては加配がついて、教科担任制をするのが一番やりやすいのですけど、そういうところも、学校内の工夫で

理科をしてもらったりとか、外国語をしてもらったりとか、  
そういう形で教科担任制を進めているところもあります。

**正 本 委 員** ありがとうございます。

**岩 光 教 育 長** はい。よろしいでしょうか。その他委員さん方、ご意見ご質問等ございますか。よろしいですかね。ないようでしたら、進めていきたいと思います。

### 【議 事】

今回提案なし

### 【報告・説明事項】

#### ○区域外・校区外就学の報告について

**末平学校教育課長** 〈配付資料をもとに内容について説明〉

**岩 光 教 育 長** よろしいでしょうか。

**全 委 員** はい、よいです。

#### ○就学援助費における学用品費（通常）の見直しについて

**村井教育総務課長** 〈配付資料をもとに内容について説明〉

**岩 光 教 育 長** よろしいでしょうか。

**全 委 員** はい、よいです。

#### ○令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

**村井教育総務課長** 〈配付資料をもとに内容について説明〉

**岩 光 教 育 長** はい。今の事務局の方から説明ありましたけど評価報告書についてということですが、委員さん方からご質問ご意見等ございますでしょうか。

**福 永 委 員** 1点いいですか。

**岩 光 教 育 長** はい。では、福永委員さん。

**福 永 委 員** すいません。委員さんの報告、意見に関することではないですけど、10ページなのですが。10ページの一番下の方

で、市内中学校卒業者の国東高校への進学率という一番下の欄ですが、実績で令和6年が、53.9%、約半市内3年生の半分ぐらいが国東高校に行った。一番真ん中に令和3年度が59.3%だった。それで、目標を、うちはもっと高いのですけど、大体半分、市としてはもっとたくさん国東高校に進学してもらいたいのだろうと思うのですけど、大体この半分ぐらいっていうのは大体もうずっとそんな感じなのでしょうか。

**末平学校教育課長** はい。令和6年がちょっと低い年でした。はい。大体6割超えつつという形。65%とか、それぐらいの数字の年もありますので、去年がちょっと最近にしては、とても少ない年でした。

**岩光教育長** はい。よろしいでしょうか。その他、ご質問ご意見等ございませんか。よろしいでしょうか。また、ご一読いただいて気になることがあれば情報交換の中でもお出しitただければというふうに思います。これは1年で終わることではなくて、ずっと継続していきますので、またご意見をいただければなというふうに思っています。お願いをします。

### 【その他】

#### ○学校体育館における空調整備について

**村井教育総務課長** <配付資料をもとに内容について説明>

**岩光教育長** はい。空調機の設置についてということで今説明がございましたけども、委員さん方。はい、では、手嶋委員さん、どうぞ。

**手嶋委員** 予算についてなのですが、一番下ですが4施設は各中学校の体育館という認識で合っていますか。

**村井教育総務課長** はい。

**正本委員** はい。

**岩光教育長** はい。正本委員さん、どうぞ。

**正本委員** この設計額というのは、設置するエアコンの代金も含めて1校2百万ということですか。

**村井教育総務課長** 設計額ですので、体育館の広さが4施設全然違います。国東中学校については国東高校の体育館ですので、広さが大分あります。それぞれの体育館にエアコンを何台設置するという方の設計をします。空調の分についてはまた、翌年度工

- 事費として計算して計上します。設計のみです。
- 正 本 委 員 わかりました。設計のみで2百万ですよね。設置するのに2百万は安いなと思って。でも設計2百万もなかなかです。わかりました。
- 松 尾 委 員 いいですか。
- 岩 光 教 育 長 はい。松尾委員さん、どうぞ。
- 松 尾 委 員 私はもうエアコンは絶対必要だなと思って、もう他の予算を削ってというか、市の他の予算からとつても早く、空調設備を整えるべきだと思ってました。この調子で、早くやつて欲しいというのが本当の意見です。
- 岩 光 教 育 長 はい。ありがとうございます。その他、委員さん方よろしいですか。福永委員さん。
- 福 永 委 員 問題というのですか。これはもう大分前からこの会議でも、取り上げられていましたし、議員さんの中からでもこういう声が上がったのですけど、当初は体育館を利用する日数が少ない、ここに書いてありますねこの通り、このあとまたエアコン、空調入れることに関しても、体育館の断熱工事も一緒にしなければいけないとかいう理由でなかなか前に進まない状況だったのですけど、この時期になってこれが進んできたという理由は何かあるのですか。
- 村井教育総務課長 今まででは断熱工事をしてから設置をいたしますというふうに議会の方では答弁をしておりました。ここに書いてありますが、特例臨時交付金、この交付金が今回断熱工事はあとでも、まずは空調設置して、そのあと令和15年迄に整備をされれば、交付金の対象になりますというふうに、交付金自体が少し変化がありました。それとあと交付金、昨日もトイレとLED化がまだ進まないというような話を学校の方もされておりましたが、予算が、交付金の方がついていません。ただ空調に関しては、ちょっと他のところの様子を見ますと、だんだんついているところがあります。ですので、今国が進めている空調の方であれば、予算がつきやすいというところもありますので、少しここを方向転換をした次第であります。
- 福 永 委 員 やっぱりこの中学校工事が終った後にまた小学校にかかる、安岐小学校ですか、昨日いったところも体育館を改修する予定が入っていますので、他はもうないですかね。体育館改修に関しては。
- 村井教育総務課長 体育館はどこも老朽化しています。安岐中学校、昨日も行っ

たところになりますが、そこももう40年、50年。

**手嶋委員** 安岐小じやないですか。

**村井教育総務課長** 安岐中ですね。安岐中も古くなっています。今後しないといけないところはありますし、今現在設計をしていますが、国東小学校の方の体育館の大規模改修の設計はしています。終わっているところは富来小学校がもう終わっています。

順次、まだまだ大規模改修するところはある状況です。

**福永委員** またそれと並行してこの空調も工事が入ってくるので、なるべく無駄がないような段取りで、その交付金の縛りもあるとは思うのですが、なるべく無駄がないような計画を立てて実施していただきたいなと思います。

**岩光教育長** はい。市の方も最初は村井課長が言ったように、長寿命化を子どもの安心安全ということで入れていこうとして、そしてそのあと空調も入るのかなというような、トイレとかLEDももう限られていますので、早くしないとなくなっていくということですのでLED化にしていこうという計画はあるのですけども、国の補助金がおりないです。経済対策にまわしているという話も聞きますけども、しかし、臨時特例交付金、これが3分の1から2分の1になったのかな。それが大きいですよね。だからもうそちらにちょっと切り換えて空調から先に行こうということでやっています。その時の情勢によって若干変更していく場合もありますので。やはり取りやすいものから取っていくというようなところも1つ大事かなというふうに思っております。これについてよろしいですかね。今年度設計、来年度4中学。それから小学校に入るということあります。

### ○九州都市教育長協議会について

**末平学校教育課長** 〈配付資料をもとに内容について説明〉

**岩光教育長** いや本当に、学校教育という部会でしたからですね、教育長さん方も課題が多いのだということを話しながらも、国東市さんというのはすごい攻めていますねというか、いろんな課題に対して、必要なところに手を差し伸べながらしていますねと、またかなり予算もかかるでどうみたいな話もされました。とてもある意味、関心を持っていただいたというか、そういうような発表の場になりました。はい。

何か委員さん方、ご質問とかご意見とかございますか。はい。  
正本委員さん。

**正 本 委 員** 幼児教育の充実というところで、うちのむさしこども園の主幹保育教諭の元永がアドバイザーをしておりますが、安岐中央こども園の財前主任さんもこの活動をしております。とても良い評価をいただいてうれしく思います。園としては、主任が結構これで割と不在になるので、ちょっと痛いところはあるのですけど、今ちょっと役割を変えて、子育て支援センターの主任の方に一応してもらって、出やすい環境を園としても整えて、これはもう国東市の幼児教育の充実を図るというところで、うちの法人も多分安岐中央こども園の園長先生もそのような感じでやっていってくれているのだなと思います。でも、そういう人が園にいるからこそ、私たちも外部からの刺激を受けて、また県の幼児教育センターの、アドバイザーの方からもアドバイスをいただいたり公開保育をしたりしているところです。これを続けて小学校にも行くという。でも、ここの教育委員の方たちも、好意的に、こうなんだろう、研修会開いたりとか声かけてくださったりとか、そういう土壤があるから、公立だけでなく私立も一緒に共にやっていこうというこの風土がとてもいいなと思います。だからこそこれができているわけであって、実はこの幼稚園教育課程に行ったらもう、私立の者は完全にアウェーというか、やっぱり公立幼稚園さんに、私立の者はちょっとまぜてもらえないような雰囲気が実はあって、私立の先生はあんまり行きたがらないので。何か私立さんだからねという感じがあって行きたいのだけど、でも、国東市はそういうことがなく進めていっておられるのは、教育長始め皆さん今まで作ってこられた風土のおかげだなと思うので、これは持ち帰って、うちの教育アドバイザーを担当しているものには伝えて、今後も頑張れるようにしたいと思います。ありがとうございます。

**末平学校教育課長** はい、ありがとうございます。本当に私も国東の凄さというか凄みというのは初めて取り組む幼児教育アドバイザーを公立の職員ではなくて、やっぱりこれまで一緒に取り組んできたし、私立の先生にお願いをしてそしてそれが積極的に協力もいただいて、活用が進んでいるというところが、本当に誇れるところだなと思って報告をしたところです。この取り組みが本当にこれからも続していくといいなという

ふうに思っていますので、またご協力お願ひいたします。ありがとうございます。

**岩光教育長** はい。今ひとつ思い出したのですけど、ここで合同の研修の時間が取れますかという質問があったのです。その方たちの市町村では、公立、私立と先生方が一緒に研修しますよと言ってもほとんど来ない、というようなことがありました。どうして国東市はそういう会が持てるし、アドバイザーに私立の人がなるのですかというような質問がありました。だからどこもやっぱりそこはちょっと壁があるというか、そういう中で、なかなかスムーズにいってないのだろうなというのを感じましたけども、私はその時に、私立、公立関係なく、子どもたちがスムーズに小学校に行くためには、児童教育が大事なのだということを皆さん気が自覚されているから、必要性を感じてきているのだと思いますよという話をしました。九州の教育長会の中でも、こういう取り組みは非常に評価されているということを、ぜひですね、こども園の先生方にもお伝えを願いたいなというふうに思います。

#### ○「国東市学校給食調理場施設整備検討委員会」の設置について

**河野給食センター所長** <配付資料をもとに内容について説明>

**岩光教育長** はい。今学校給食の調理場施設整備検討委員会を今後立ち上げていくというような説明がございましたが、それについてご意見ご質問等ございますか。

**正本委員** はい。

**岩光教育長** はい。正本委員さん。

**正本委員** 安岐でも27年経過をして今から設置の検討委員会を立ち上げるのですけど。何かこう、こうなっていきたいという最終の目標の期間とかがあるのかなと思っているのですけど、例えば、もうこれぐらい経過しているから、あと10年後にはここまで行きたいとか、5年後には最低でも、何かの目標が立てられるといいなとか、そういう見通しはどんな感じですか。

**河野給食センター所長** はい。ありがとうございます。見通しというか、昨年度、施設整備の府内検討委員会、いわゆる内部会議を持っておりまして、その時の目標としましては一応場所はどうとかではなくて、一応最終的にしたいのは、令和10年から10年

の間にはしたいということで、検討はしております。

岩光教育長 よろしいですか。

正本委員 はい。

岩光教育長 その他ございますか。よろしいですかね。先ほど言ったようにやっぱり施設の老朽化ということと、子どもたちの今アレルギ一体質が非常に増えていると。そういう子どもたちをどう救っていくのかと言ったときに、やはりそういう施設がないと困るわけです。だから安心安全な学校給食の提供のためには、見直しが必要ではないかということ。これは施設面ですね。それとあと児童生徒数が減少してきているというようなこともありますのでそういう状況を踏まえて、学校給食調理場のあり方はどうなのかということを、学校関係者、または保護者等に意見を聞き、そこから諮問機関ですから、報告、答申をいただき、それをいただいた上で、尊重しながら教育委員会で決定していくというような流れになろうかと思います。そのあと最終的には議会の方でということになるのですけども、まだその前々段階のご意見を聞いてまとめて、委員会の方に提出してもらうと。ただこの検討委員会については、今年度中に答申を出してもらうという方向でいいですか。

河野給食センター所長 そこもちょっとまだ検討委員会の中で検討をすると。思ってはそれはあるのですけれども。はい。

岩光教育長 年度を跨ぐとまたメンバー変わりますからね。

河野給食センター所長 できるだけ、それはその方向で。はい。

岩光教育長 今言われたような見通しを持ちながらやるということですので、教育委員会とすれば、そこでの期間で検討委員会の報告を受けながら、今後決定をしていくというような流れになろうかというふうに思っています。この委員会についてよろしいですか。

全 委 員 はい、よいです。

【午前11時27分 閉会】

村井教育総務課長 閉会宣言

令和7年1月25日

(署名委員) 教育委員 手嶋秀法 

教育委員 松尾泰二 

(会議録作成者) 国東市教育委員会  
事務局教育総務課総務係 河野 裕章